



海風の国

2 0 2 3

November

11

佐世保観光マーケティングレポート

SASEBO TOURISM MARKETING REPORT

公益財団法人 佐世保観光コンベンション協会

データに基づく 観光マーケティング ×ブランディングを目指して

2023年5月のコロナ5類移行以来、インバウンドを含む観光需要は急速に回復しており、佐世保市を訪れる訪問者数もコロナ前の水準に近づこうとしています。

こうした中、本市が”旅先として選ばれる地域”となるためには、これまで以上に戦略的な観光地域づくりを官民一体で進めていく必要があります。

私たち佐世保観光コンベンション協会では、そのキーワードとして「データに基づく観光マーケティング×ブランディング」を進めて参りたいと考えています。

携帯電話のGPSによる移動データや検索データ、宿泊予約データ、SNSデータ等の様々なビッグデータを活用し、本市を取り巻く観光の現状と課題をリアルタイムで分析し、各種の事業を展開します。

このレポートはこうしたビッグデータやそれに基づく分析結果を観光関連事業者等の皆さまへお届けするために作成するものです。今後は毎月、本レポートを発行しながら、定期的な動画解説や各種セミナーなどを実施して参ります。是非、皆さんもデータに関心を持っていただき、私たちと一緒にデータに基づく観光地域づくりを進めていただければ幸いです。

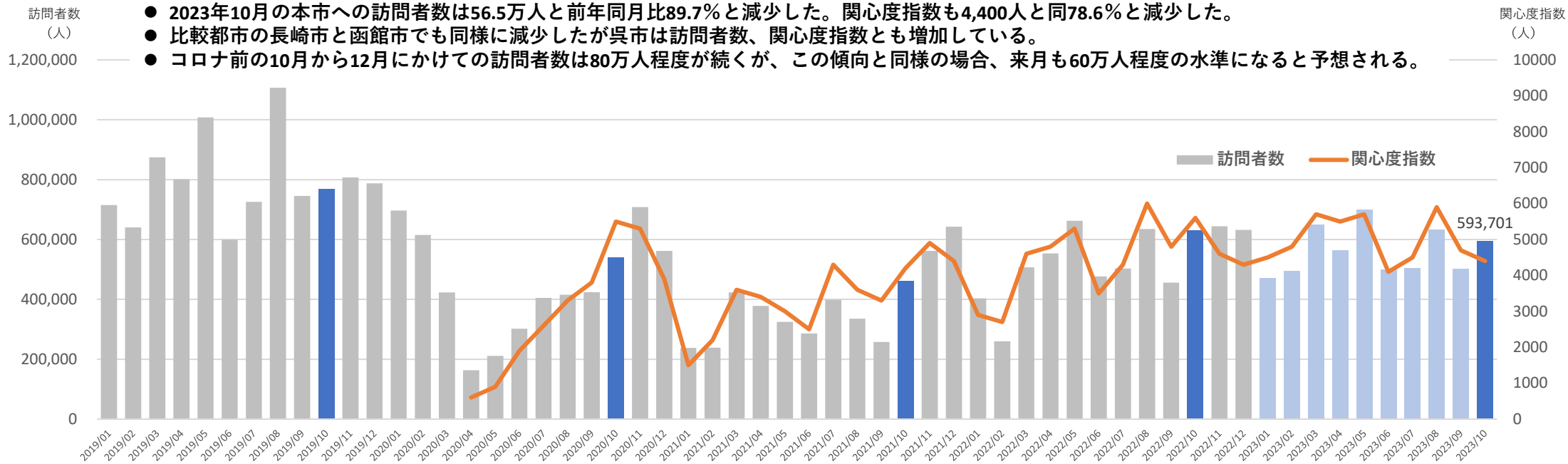
※本データは携帯電話アプリの位置情報や検索行動などを基にした推計値です。佐世保市が発表する観光統計とは異なります。



海風の国

2023年10月訪問者数・関心度指数サマリー

- 2023年10月の本市への訪問者数は56.5万人と前年同月比89.7%と減少した。関心度指数も4,400人と同78.6%と減少した。
- 比較都市の長崎市と函館市でも同様に減少したが呉市は訪問者数、関心度指数とも増加している。
- コロナ前の10月から12月にかけての訪問者数は80万人程度が続くが、この傾向と同様の場合、来月も60万人程度の水準になると予想される。



訪問者数・関心度指数相関係数 0.892 (2020年4月からの通算)

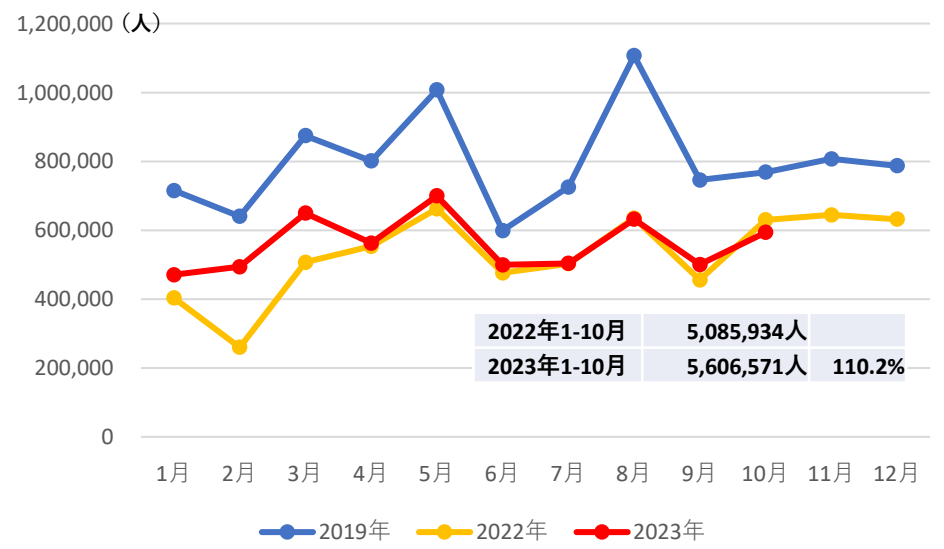
佐世保市：訪問客数・関心度指数

	訪問客数		関心度指数※	
今月 (10月)	593,701		4,400	
前年同月比	94.2%	↓	78.6%	↓
コロナ前比	77.2%	↓	—	—

比較都市：訪問者数・関心度指数

	佐世保市	長崎市	函館市	呉市
訪問者数	593,701	781,940	559,724	88,218
(前年同月比)	94.2% ↓	92.4% ↓	97.1% ↓	112.2% ↑
関心度指数	4,400	21,800	14,600	4,300
(前年同月比)	78.6% ↓	65.9% ↓	55.9% ↓	172.0% ↑

佐世保市月別訪問者数

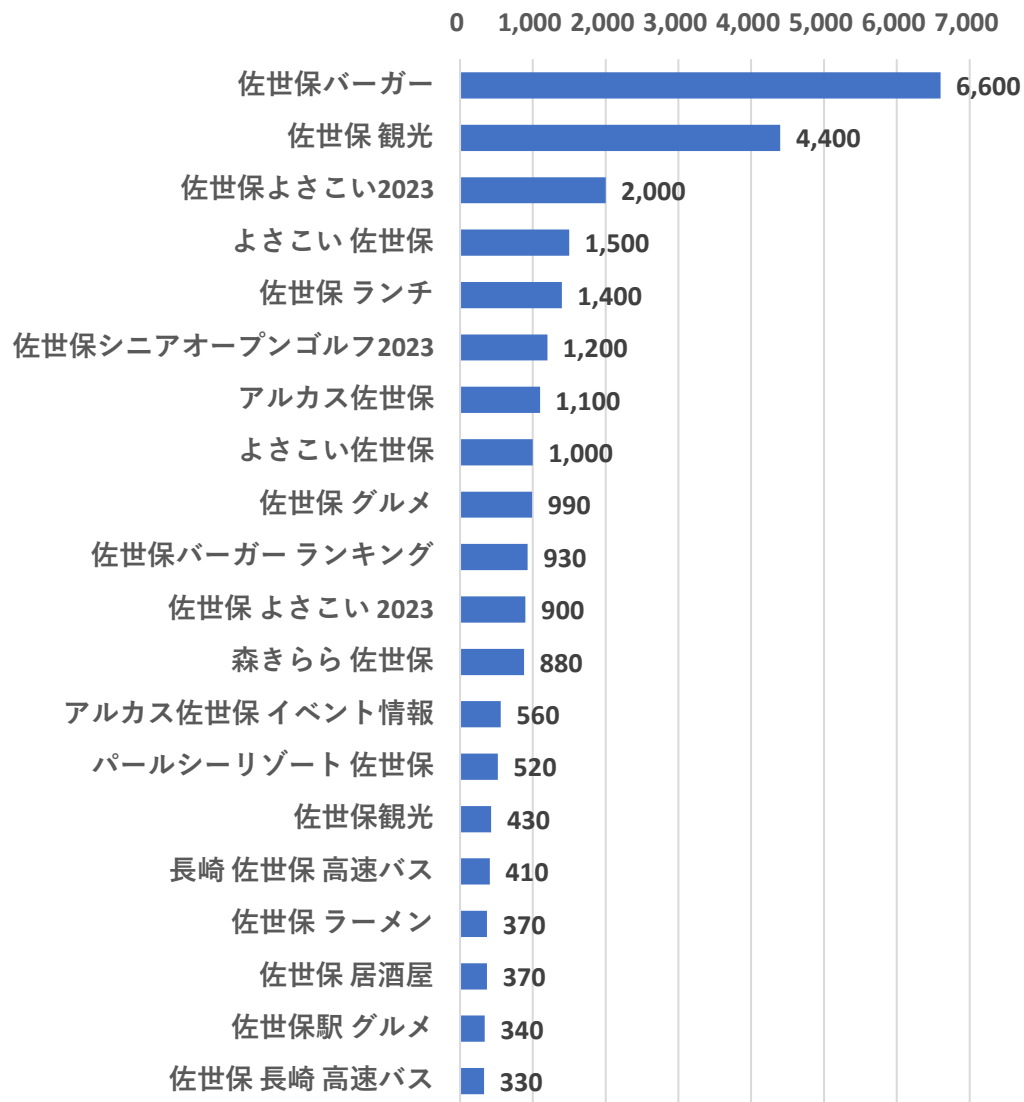


※関心度指数は、日本全体でどれくらいの人があるキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出。本レポートでは、検索キーワード「佐世保市」の観光関連の共起ワードで最多の「佐世保_観光」とし完全一致のみをカウントした。実際は「佐世保観光」、「佐世保_観光_〇〇」、「佐世保旅行」など検索ワードは様々であるが、定点観測ワードとして採用した。

10月の「佐世保」関連キーワード 関心度指数ランキング

- 10月の佐世保関連キーワードの関心度指数は「佐世保バーガー」が最も多く、「佐世保 観光」が続き、「よさこい祭り」が3位にランクインした。
- 9月からの増加数は、2023年10/20(金)・21(土)・22(日)に開催された「よさこい祭り」関連のキーワードが最多であった。また佐世保カントリー倶楽部で開催された「佐世保シニアオープンゴルフトーナメント（15日）」が2位、「かき食うかき祭り」、「おさかな祭り」などイベント関連の関心が高いことが窺える結果となった。

【「佐世保」関連キーワード関心度指数ランキングベスト30（人）】



<参考> その他佐世保市内施設の関心度指数

- ・ハウステンボス 87,000人
- ・九十九島 3,900人

【対前月からの増加数ランキング】

1位	佐世保よさこい祭り
2位	佐世保シニアオープンゴルフ2023
3位	佐世保くんち
4位	佐世保かき食う祭り
5位	佐世保おさかな祭り
6位	佐世保 コスモス
7位	お魚祭り 佐世保
8位	佐世保中央公園
9位	佐世保港 クルーズ船
10位	森きらら 佐世保

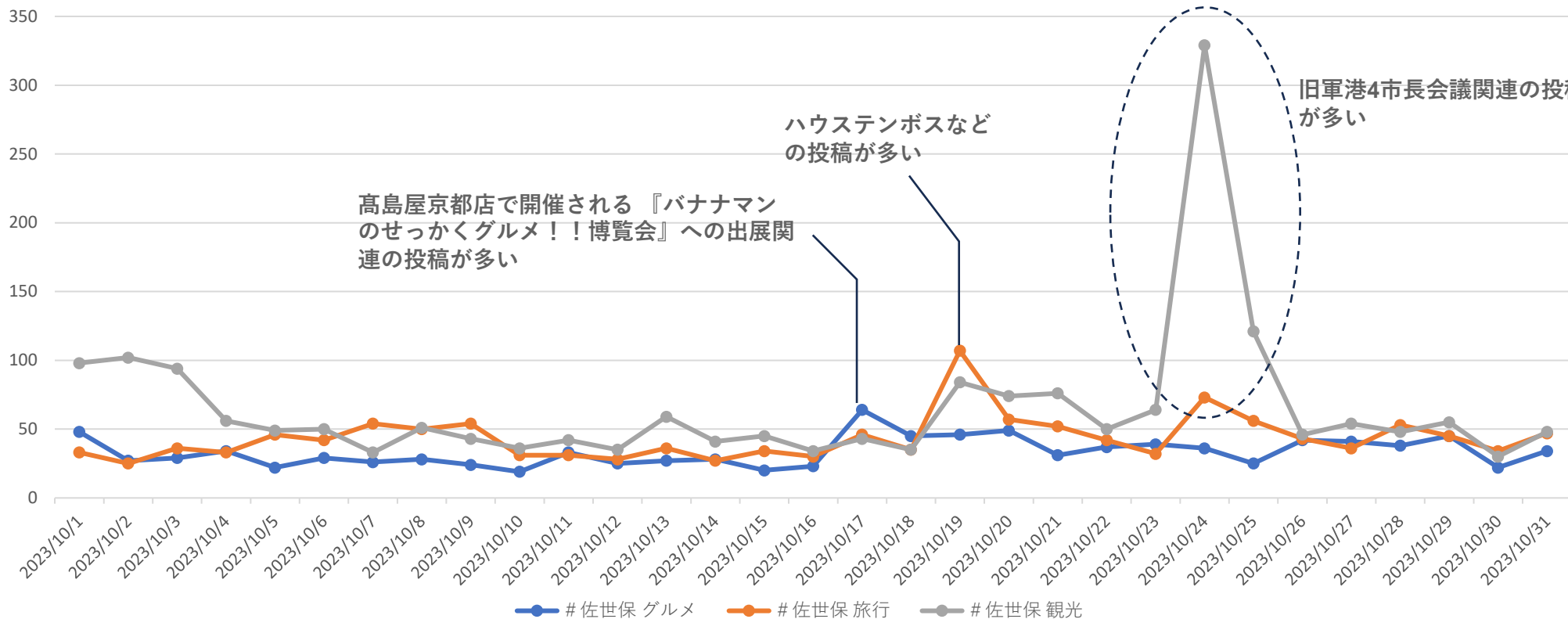
※関心度指数

日本全体でどれくらいの人があるキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出

10月の「佐世保」関連キーワードSNS投稿数



【10月の「佐世保」関連キーワードSNS投稿数】「X (旧Twitter) / Instagram / Facebookページ / ブログ / Q&Aサイト / YouTube / TikTok / 掲示板 / ニュース」投稿数の合計



【X (旧Twitter) の共起ワード】

「佐世保 グルメ」との共起ワード

共起ワード	出現回数
長崎	61
たこ焼き	24
自家製	23
ベーコン	22
肉汁	22
トッピング	18
カレーパン	17
催事	17
あご	16
ハンバーグ	15

【特徴】
バナナマンのせっかくグルメ!! 博覧会に関連した催事関連の話題や、ハンバーガー関連でベーコンや肉汁などの話題、あごだしたこ焼きなどの話題が多く見られた。

「佐世保 観光」との共起ワード

共起ワード	出現回数
池田	172
横須賀	115
ハウステンボス	100
市長	100
認定	96
防衛	94
我が国	93
近代化	93
インフラ	91
設備	88

【特徴】
SKE48池田楓さんに関する話題や、横須賀・呉・佐世保・舞鶴の旧軍港4市長会議に関する話題、MOTTOハウステンボスに関する話題が多く見られた。

「佐世保 旅行」との共起ワード

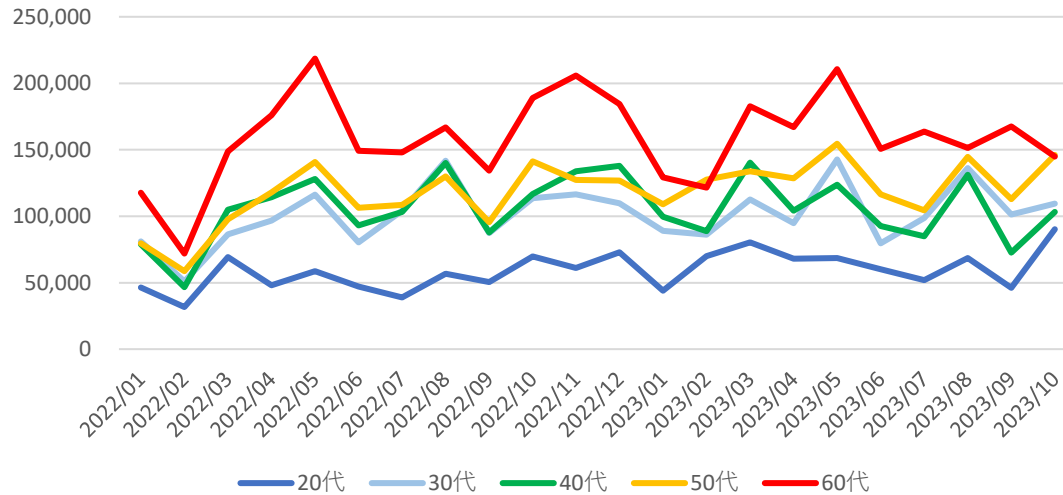
共起ワード	出現回数
長崎	151
ハウステンボス	111
行方	64
修学旅行	48
楽天トラベル	45
元祖	42
用品	40
半額	40
香港	33
売却	32

【特徴】
ハウステンボスの行方・売却に関する話題、ふるさと納税に関する話題が多く見られた。

2023年10月／性別・年代別サマリー

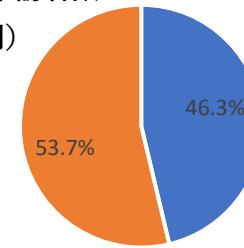
- 2023年10月の年代別訪問者数は、50代が14.6万人で最も多く、60代が14.5万人で続いている。
- 前年同月比では20代が129%、50代が103%と増加したものの、他の年代は減少し特に60代が77%と減少した。なお20代の9.0万人は2022年以降最多である。
- 関心度指数は50代が最も多いが、各年代で前年同月を下回った。ヤフーなどの検索エンジンを利用した検索は40代以降が多く、一方で、SNSを活用した検索が多いと考えられる20代、30代は、相対的に指数が少ない結果となっていることが伺える。

年代別訪問者数推移（人）



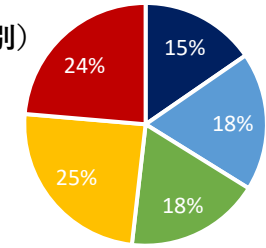
今月の来訪者数

(性別)



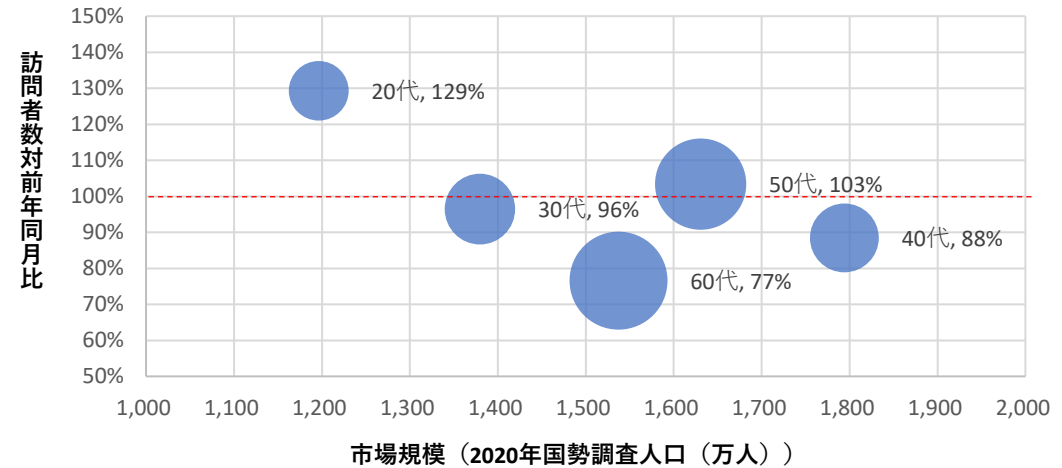
■ 男性 ■ 女性

(年代別)



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

市場規模×訪問者数増加率（対前年同月比）※円の大きさは10月訪問者数



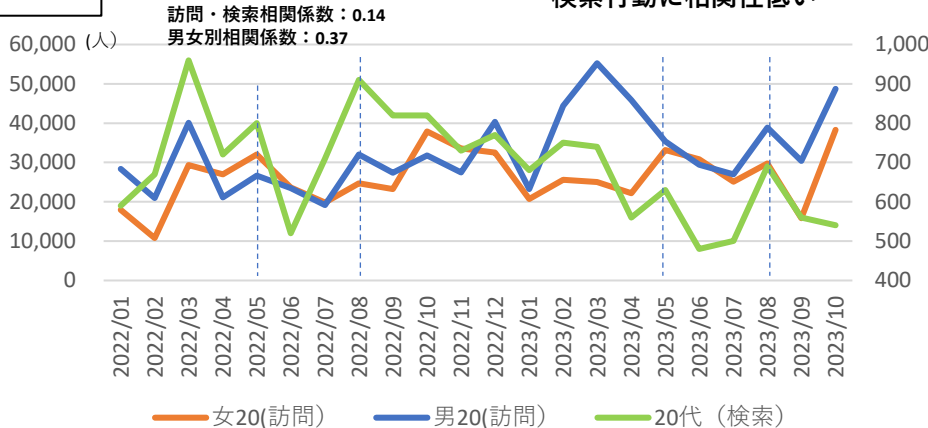
10月の年代別訪問者数・関心度指数

	訪問者数		男女比		前年同月比	関心度指数 「佐世保 観光」		前年同月比
	人口比※	女性	男性	20代(検索)		30代(検索)	40代(検索)	
20代	90,128	0.75%	44%	56%	129% ↑	20代(検索)	540	66% ↓
30代	109,460	0.79%	39%	61%	96% ↓	30代(検索)	570	66% ↓
40代	103,236	0.58%	44%	56%	88% ↓	40代(検索)	850	77% ↓
50代	146,102	0.90%	42%	58%	103% ↑	50代(検索)	1,000	83% ↓
60代	144,775	0.94%	59%	41%	77% ↓	60代(検索)	820	93% ↓

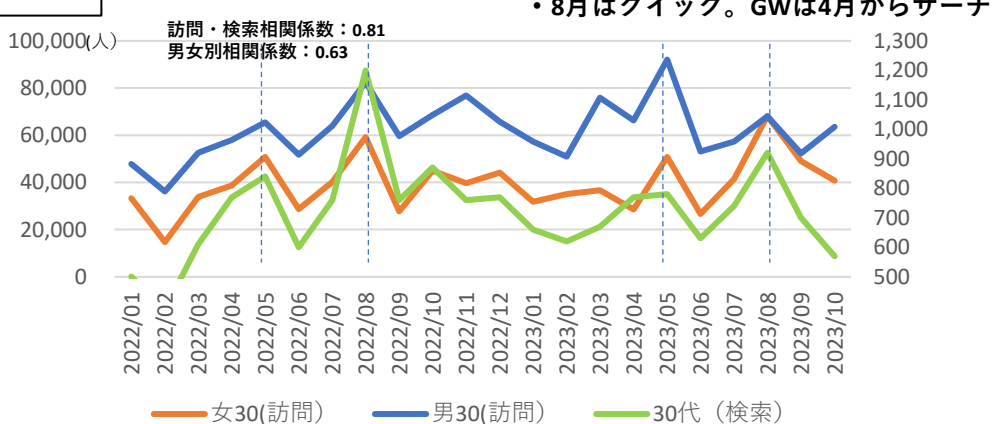
性・年代別特性

- 年代別の訪問者数と関心度指数の相関関係をみると、SNSの活用が想定される20代を除き相関係数が0.63～0.83と非常に強い相関がみられる。訪問者数と検索数は20代以外は概ね比例関係にあるといえる。
- 年代別で男女間の相関をみるとこちらも20代以外では0.63～0.81と強い相関があり、男女共概ね同様の動きをみせることが想定される。
- 20代は多様性が強く、関心度指数や男女別の傾向にとらわれない視点での分析が必要と考えられる。

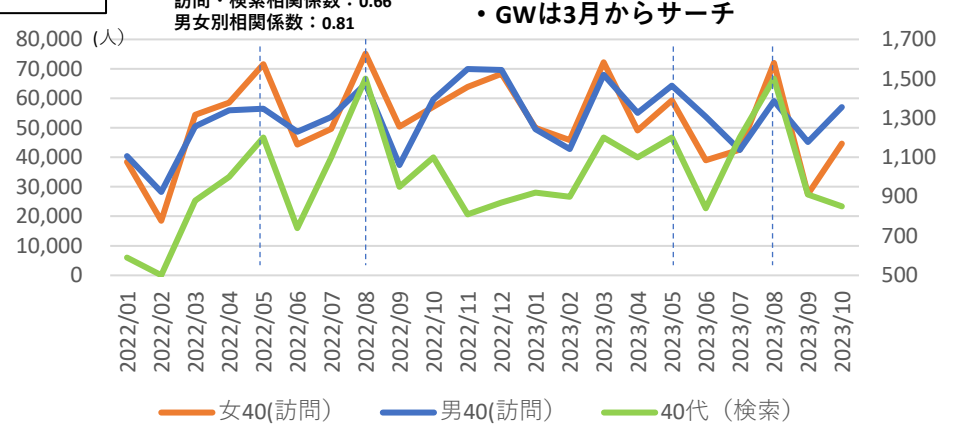
20代



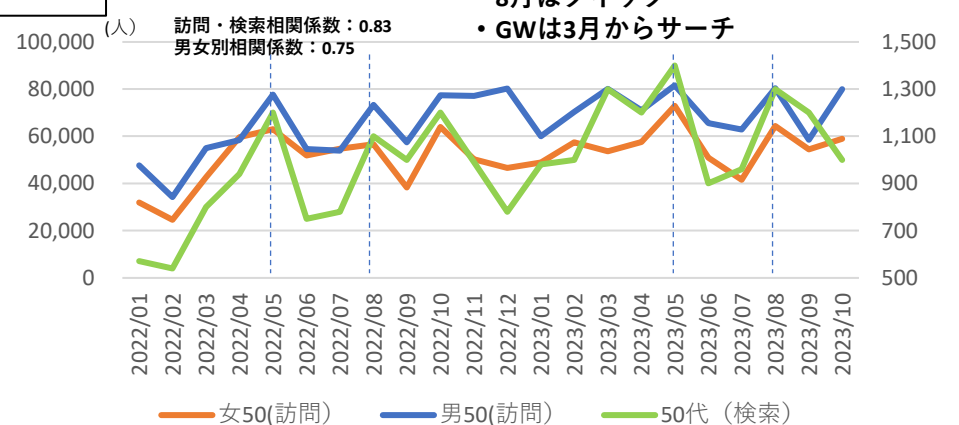
30代



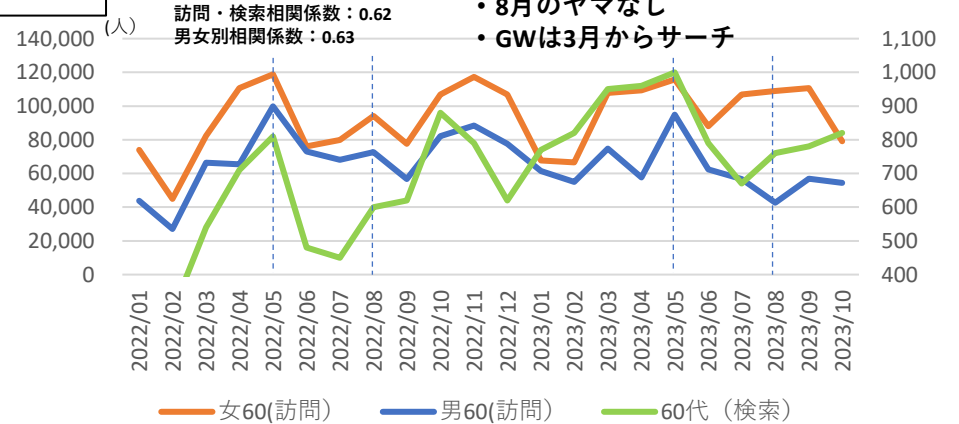
40代



50代



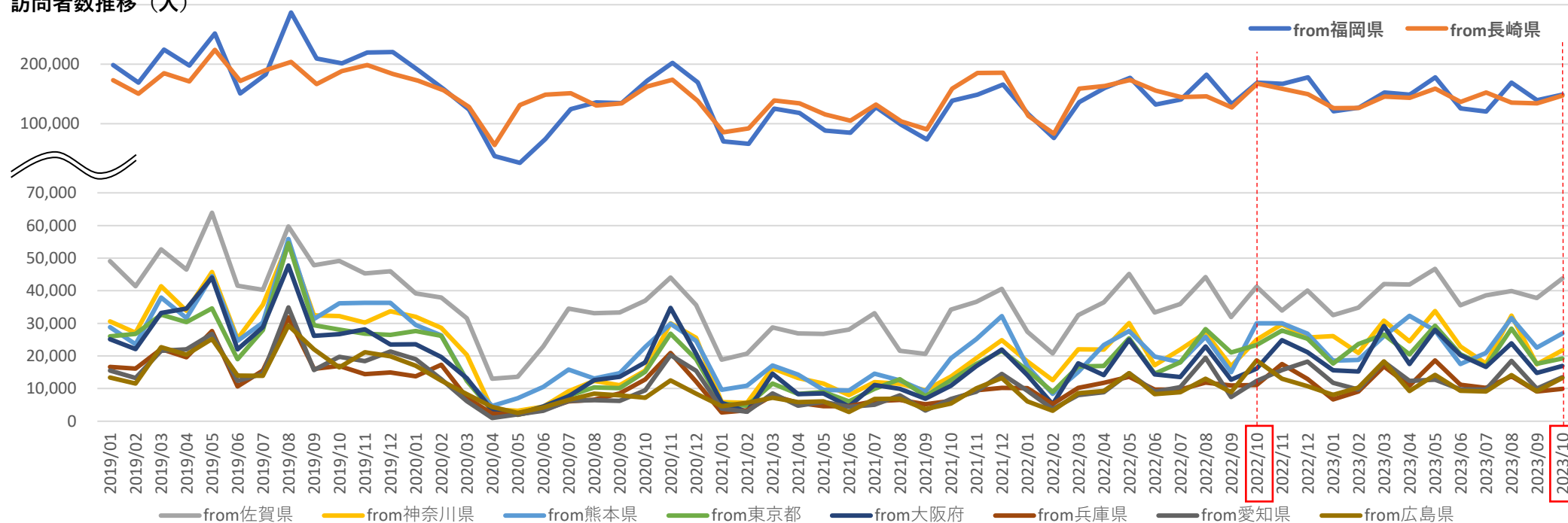
60代



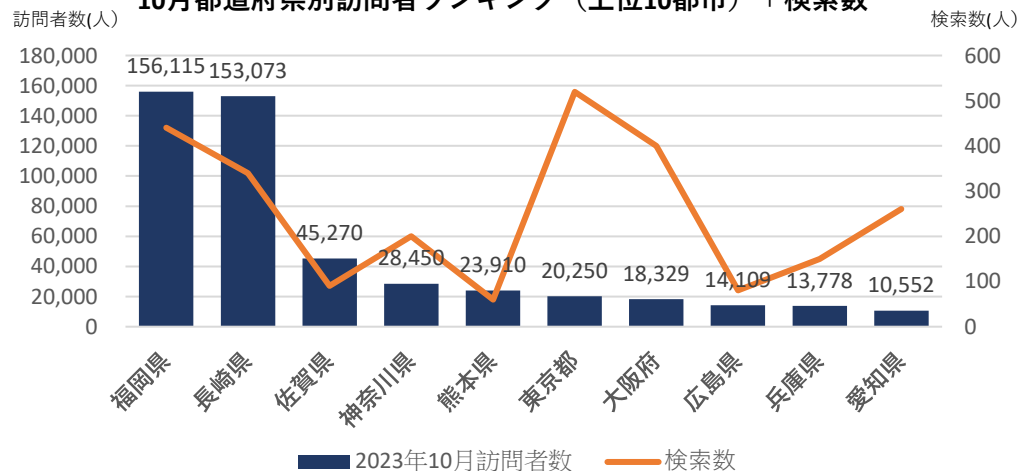
エリア別サマリー

- 佐世保市への訪問者数は福岡県と長崎県からが最も多く、2エリアで全体の52%を占める。
- 福岡県と長崎県以外では、佐賀県、神奈川県、熊本県、東京都など九州近郊と関東が続き、以下、関西や中部、中国地方の大都市圏が続く。
- 市場規模・増加率ともに高いのは東京などの関東圏であるが、増加率が最も高いのは関西、東海圏となっている。

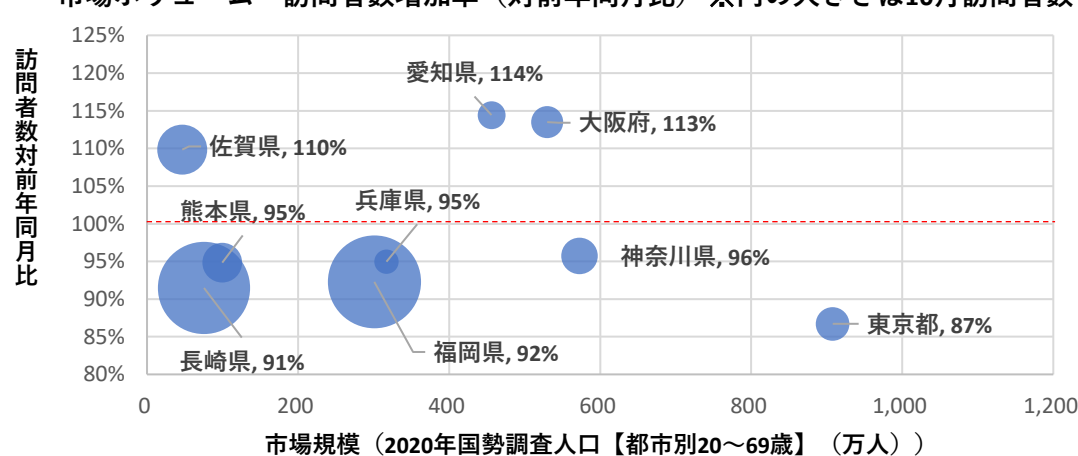
訪問者数推移 (人)



10月都道府県別訪問者ランキング (上位10都市) + 検索数



市場ボリューム・訪問者数増加率 (対前年同月比) ※円の大きさは10月訪問者数

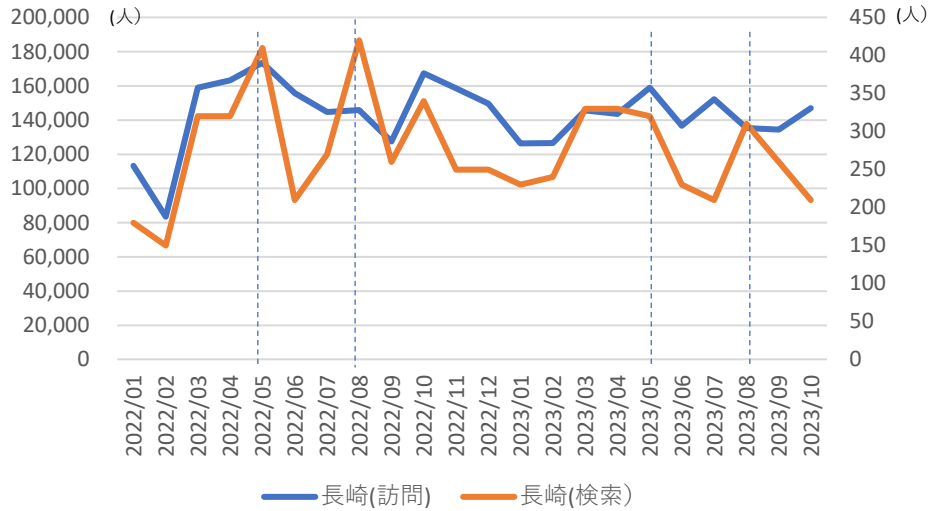


8月は前月、GWは4か月前（1月頃）からのプロモーションの必要性

長崎県

訪問・検索相関係数：0.63

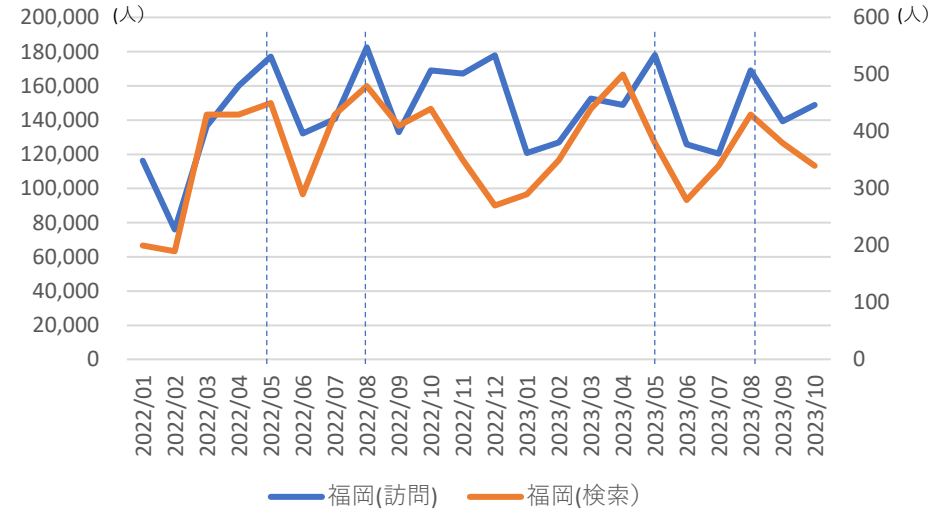
- ・訪問者数の8月のヤマがない
- ・GWは2~3か月前からサーチ



福岡県

訪問・検索相関係数：0.63

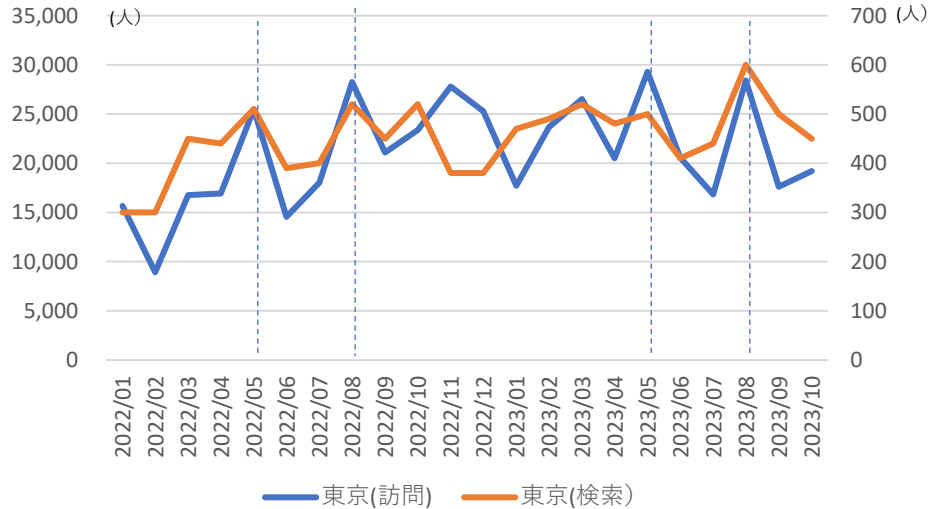
- ・8月の検索は同月
- ・GWは2~3か月前からサーチ



東京都

訪問・検索相関係数：0.63

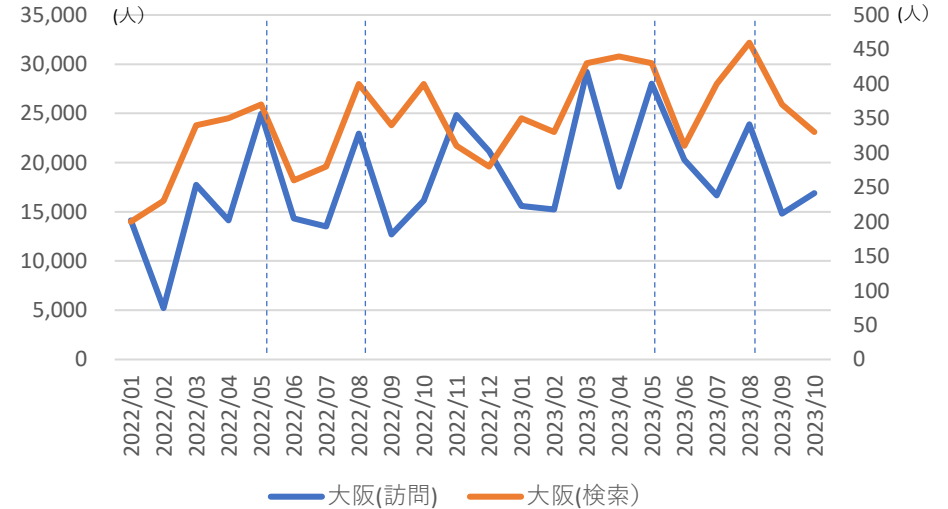
- ・8月のサーチはクイック
- ・GWは1月からサーチ（最も早い）



大阪府

訪問・検索相関係数：0.58

- ・8月のサーチはクイック
- ・GWは3月からサーチ



資料) ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT / おでかけウォッチャーデータを基に作成